

議会だより

笑顔のために

消防費
1,944,015,000円

民生費
19,866,335,000円

61,284,781,000

土木費
4,695,578,000円

総務費
15,880,347,000円

教育費
8,055,025,000円

公債費
3,081,021,000円

衛生費
5,705,764,000円

決算の時が来た!

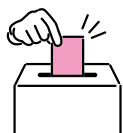
No.440

令和7年12月1日発行

目 次 CONTENTS

- 01 表紙
- 02 目次
- 03 あなたにスポットライト！
富士宮高校会議所
- 04 9月定例会の議決結果
28件の議案について審議
- 05 決算審査特別委員会
富士宮市議会の各会派が選ぶ！令和6年度決算の注目質疑
- 07 決算審査特別委員会 ～注目のQ & A～
市民の皆様を知っていただきたい質疑応答！
- 10 議長公務／議会運営委員会
- 11 常任委員会
常任委員会は先進的取組を行っている自治体を視察
- 14 那須町議会視察受け入れ
- 15 一般質問
16人の議員が市政を問う
- 23 2月定例会の予定／議員の寄附行為の禁止について
- 24 議会だより編集委員会編集後記

議会だよりの編集と発行は、議会だより編集委員会が行っています。
委員長…仲亀恭平
副委員長…村瀬旬
委員…近藤千鶴、平下尚己、
山藤陽子、稲葉晃司



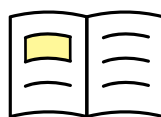
あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像（ライブ・録画）を配信しています。



議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版（PDF版）を見ることができます。



LINE 友だち追加

市公式 LINE にて、議会に関する情報を発信しています。





富士宮高校会議所

「富士宮をマスマス元気にしたい!!」高校生たちの

主体的な地域貢献ボランティア集団

議会だより編集委員会が直接話を聴いて市民の本音に迫る「あなたにスポットライト!」。第三回目は今年で十年目の活動を迎える富士宮高校会議所の皆さんにお話を伺いました。

富士宮高校会議所とは?

2016年2月に、高校生の視点で富士宮市を元気にし、地域がにぎわうようにするため、イベントや新商品を創り、持続可能な社会を創り

出すことをねらいとしてできた高校生の集まりです。

当時「西町から富士宮を元気に!」の思いがあり「西町レトロ館」を本部とし、話し合いなどの活動の中心場所になっています。メンバーは現在31人の中高生で構成されています。

富士宮高校会議所に参加しようと思ったきっかけは?

参加のきっかけは多種多様です。母親の勧めで中学3年生の冬から活動しているメンバー、様々なことを体験したいという好奇心から参加を決めたメンバーがいます。また、学校生活を通じて地域貢献に関心を持ち、「社会貢献についてもっと学びたい」と決意したメンバーもいます。さらに、福祉科に所属する高校生は「もっと身近にある福祉に触れた

い」という明確な目標を持って参加しています。加えて、「普通では体験できない特別な活動」としてハンズベル演奏に魅了され、活動が続いている仲間がいます。今年も公民館祭りで演奏を披露するため、熱心に練習に励んでいます。

特に力を入れている活動は?

活動の核は、持続可能な社会づくりです。

富士宮市特産のニジマスと朝霧牛に着目し、これまで廃棄されていたニジマス残渣と朝霧牛の糞尿を再利用し、堆肥「マスマス元肥」を開発しました。この「マスマス元肥」を活用し、トウネツ様協力のもとサツマイモを栽培しました。さらに菓子処藤太郎様とのコラボスイーツ「マスマス元気いもプリン」を開発し、今年のプリン祭りで販売するという実績も上げています。

現在は、和紅茶の商品化、ひまわり油の製造、ジャンボ力ボチャ栽培

の推進など、新たな商品開発を進めています。

また、静岡県立富士特別支援学校富士宮分校卒業生のアートクラブのメンバー、富士市立吉原二中等特別支援学級関係者のミュージックベル演奏チーム ミュージックサークル様、吉本芸人フランク・ポネ様とのコラボ活動「富士宮をアート(絵画・音楽・笑い)で元気に!」や、スペイン・パキスタンの若者とのオンライン交流会にも挑戦しています。

市民の方々へのメッセージ

いつも私たち富士宮高校会議所に多くのお力添えをいただき感謝しています。今後ともサポートをお願いいたします。

学業、部活動優先が原則でありませんが、みんなの意見を聞き、楽しく活動しています。世代を超えたイベントなどで交流し、皆さんが笑顔になることがうれしいです。多くの高校生に入所していただき、主体的に高校生の視点で富士宮をさらに元気にできたらと思います。

委員からのエール

皆さん、楽しんで活動されていると感じました。何事も継続するのは難しいですが、「富士宮を元気に!」と真剣に向き合っている富士宮高校会議所を、私たちは応援していますので頑張ってください。

(文責: 近藤千鶴、平下尚)



▲富士宮高校会議所の皆さん



▲取材の様子

9月定例会の議決結果

9月定例会 議案審議

議案番号	件 名	議決結果
報 第 17 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
報 第 18 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報 第 19 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報 第 20 号	富士宮市土地開発公社の令和6年度事業決算の報告について	//
報 第 21 号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和6年度事業決算の報告について	//
報 第 22 号	令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	//
認 第 1 号	令和6年度富士宮市歳入歳出決算認定について	認 全 会 一 致
認 第 2 号	令和6年度富士宮市水道事業決算認定について	//
認 第 3 号	令和6年度富士宮市下水道事業決算認定について	//
認 第 4 号	令和6年度富士宮市病院事業決算認定について	//
議 第 54 号	令和6年度富士宮市水道事業剰余金の処分について	原 案 可 決 全 会 一 致
議 第 55 号	令和6年度富士宮市下水道事業剰余金の処分について	//
議 第 56 号	富士宮市民文化会館条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 57 号	富士宮市立公民館条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 58 号	富士宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 59 号	富士宮市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び富士宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 60 号	財産の取得について	//
議 第 61 号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市富士根交流センター）	//
議 第 62 号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市富丘交流センター）	//
議 第 63 号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算（第3号）	//
議 第 64 号	令和7年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議 第 65 号	令和7年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議 第 66 号	令和7年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	//
議 第 67 号	令和7年度富士宮市水道事業会計補正予算（第1号）	//
諮 第 6 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意
諮 第 7 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
選 第 24 号	固定資産評価審査委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
	近藤千鶴議員に対する懲罰動議について	戒 賛 成 多 数

※報＝市からの報告、認＝決算の認定、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件 の略。

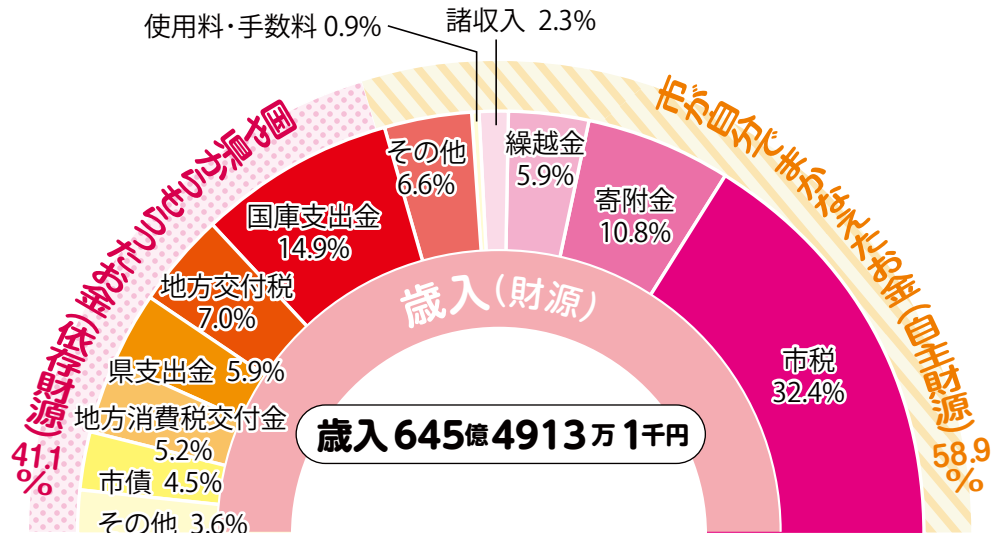
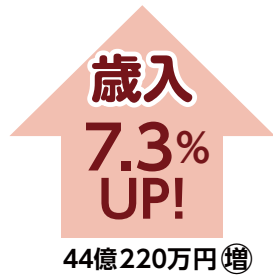
※議案番号は、令和7年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

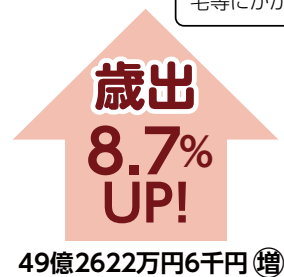
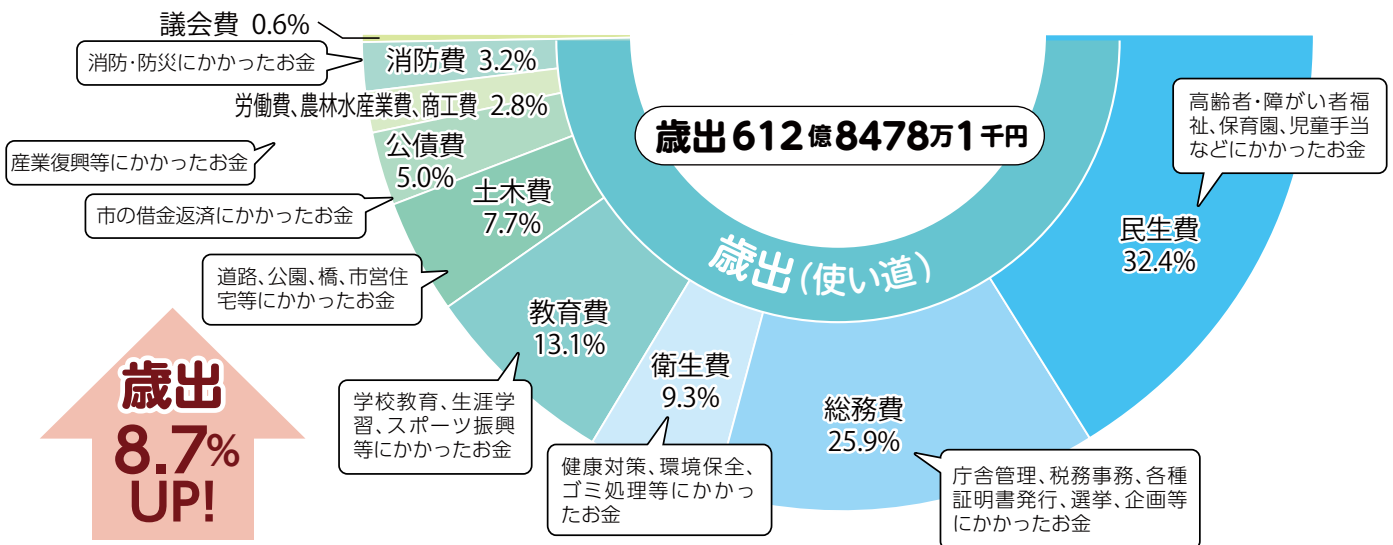
令和6年度 一般会計決算



令和6年度富士宮市歳入歳出決算認定について（以下、令和6年度富士宮市一般会計決算）にフォーカスし市民の皆様にお伝えします。



一般会計



総務費
125,687円



民生費
157,235円



教育費
63,753円



土木費
37,164円



労働費・農林水産業費・商工費
13,561円



衛生費
45,159円



公債費
24,385円



消防費
15,386円



議会費
2,717円



令和6年度
一般会計決算
市民1人当たり
いくら使った？
※令和7年4月1日人口
126,348人から算出

富士宮市議会の各会派が選ぶ！

令和 6 年度決算の注目質疑

市の貯金である財政調整基金は前年度から約 13 億円増の 86 億 7200 万円、市債残高は 8,980 万円減りました。

財政の弾力性を示す経常収支比率は 93.8%、借金返済額の財政規模に対する割合の実質公債費比率は 3.6%、指数が高いほど財源に余裕があるといえる財政力指数は 0.834 となり、将来負担比率は生じていません。

決算審査特別委員会

佐野寿夫委員長のコメント

2 日間にわたり令和 6 年度決算審査特別委員会を全委員出席のもと開催しました。歳入では、全般について多くの質疑が出され、歳出では特に、自治体全体の運営を支えるための基礎的な経費である総務費に議論が集中しました。富士宮市病院事業決算認定では、現状と今後の病院事業をめぐって活発な質疑が行われました。2 日目は 19 時頃まで審議を尽くし、全会一致で可決すべきものと決定いたしました。



▲佐野寿夫 委員長

討論

令和 6 年度富士宮市一般会計決算（認第 1 号）について、本会議で行われた討論内容を要約し、以下のとおり掲載します。



賛成討論 赤池 弘源 議員

物価高騰や社会保障費の増大など厳しい環境の中でも富士宮市は生活支援と将来投資の両立を実現しました。歳入 645 億円、歳出 612 億円で約 27 億円の黒字を確保し、令和 7 年度の財政需要に対応するため基金の積立も行われました。自主財源 58.9%と安定した財政運営が続いています。なお、市の財政状況を客観的に表す 4 つの指標「健全化判断比率」は良好で短期的な視点でなく長期的安定を重視した運営が続けられています。

→本会議で採決した結果、全会一致で令和 6 年度富士宮市一般会計決算（認第 1 号）を認定しました。

不妊・不育症治療費助成について

公明会

- | | |
|--|--|
| <p>問 不育症の人数は増えてきているのか、不育症の相談はあるのか。</p> | <p>答 妊娠されて、その後、おなかの中で育たず、残念ながら、出産までに至らなかったのが、不育症。不育症が増えているかは、把握していない。不育症の相談人数は令和6年度は3件。令和5年度は6件。令和4年度は1件。</p> |
| <p>問 母子健康手帳交付者42人のうち、出産された人数はわかるか。</p> | <p>答 出産されたかまでは、追っていないが、42人の方が妊娠され、母子健康手帳を交付したことが実績になる。</p> |
| <p>問 不育症の相談窓口を市のホームページに掲載しているか。</p> | <p>答 不育症は県の補助金も入っている。県のホームページに相談窓口が掲載されている。必要ならば、重複するが、市のホームページに掲載していく。</p> |
| <p>問 母子健康手帳交付者42人の年齢別の内訳と希望を持っていたかどうかという意味で、最高齢を伺う。</p> | <p>答 細かい年齢だと個人が特定され、よくない。ざっくりした年齢でお答えする。20代が1人。30代が33人。40代が8人で42人。最高齢は40代半ばの人である。</p> |



市立病院の今後の医療環境と経営改善

明 和

- | | |
|--|--|
| <p>問 業務活動によるキャッシュフローが△1億3800万円となったのは人件費と物価高の影響があるとしているが、根本的な原因はどこか。経営改善のためには診療報酬10%増が国への希望としているが、5月に公表した「市立病院の医療環境のあり方」にある目指すべき病院の整備の実現は本当に可能なのか。</p> | <p>答 赤字になるような診療報酬の改定があるから分らない。診療報酬の上昇が追い付かないとなると、一般会計で基金を積み上げる、一般会計からの基準外繰入等の手法を進めていかねばならないのでは。</p> |
| <p>問 一般会計からの繰入で債務の返済に充てることだが、それが独立会計としてあるべき姿なのか、判断が難しい。</p> | <p>答 民間のように診療や不採算部門を止めたりすることは、公立病院はできない。コロナの空床補償がなくなり、賃上げ促進税制、エネルギーの高騰等の問題も複雑に絡み合い、収益がつかなくなっている。それでも市民の安心安全のための投資、例えば新しい医療機器やDXの導入も進めていかねばならない。</p> |
| <p>問 今ある医療が当然のようにこれから先もあり続けると思う市民も多いが、残念ながら現実にはそんなに甘いものではない。どうやって理解してもらうのかの努力、取組も必要ではないか。</p> | <p>答 国に対して声を上げていくが、地方自治体としての踏ん張りをみせなければいけない時だ。これから協力をお願いして態勢を整えていきたい。</p> |



問…議員（委員）、答…市当局

宿泊施設等誘致の見込みは

至 誠



答 問

用地調査の結果と今後の方針は。需給分析により本市では現在、ビジネス系の宿泊施設については足りている。用地調査の結果も踏まえある程度場所を特定し市街地中心部に、差別化したアップービジネスホテルを呼び込みたい。また、観光資源が豊富で観光誘客が見込めるが、ホテルが少ない北部地域には、金額的に高すぎないが個性のあるライフスタイルホテルを誘致したかどうかという戦略方針となった。

答

問

宿泊事業にかかわる支援事業への戦略方針はどのように策定されたか。

市内未利用地における宿泊施設用地の調査を行った。合わせて宿泊需要の需給分析を行い、宿泊施設事業へのアプローチに係る方針を策定した。

富士宮市立病院、激烈に厳しい!!

超党派虹の会



答

医業収益は増えているもののそれ以上に物価高騰による経費の増が大きい。診療報酬が物価上昇と乖離し、アンバランスな状態にある。この状況は今後も続くと予想される。病院経営の効率化を図るため医療のDX化や病院のリニューアルもあることから、基準外の繰り入れも考えなければならぬ。

問

令和6年度の病院事業会計において当年度純損失9億5600万円の赤字となった。一般会計から病院事業会計に基準内繰り入れが17億円となっているが、今後基準外の繰り入れなどが考えられるのか？

3千人に迫る！救急情報共有で搬送円滑化へ

つなぐ



- 問** シズケア＊かけはしの登録者数を伺う。
答 登録者数2,981人。（令和7年3月末現在）
- 問** 救急かけはしの活用内容を伺う。
答 救急かけはしは、事前に登録された救急情報を救急搬送の際に共有し、円滑な搬送に繋げる仕組みである。令和6年度は救急搬送された登録者88人に対し、医療機関による情報照会が7回実施された実績がある。
- 問** 救急かけはしの登録者が増え、富士宮の安全に繋がる。来年の目標登録者数は設定しているのか。
答 目標登録者数や、具体的な展開方針については、検討を進めている。

経常収支比率 93.8%は財政に余裕がない事

無会派

- 問** 令和6年度の富士宮市の人件費は95億円で、その結果、経常収支比率は93.8%と近年でも最も高くなっています。全国平均よりも残業代が多く、職員の健康や心の疲れも心配されます。市の行政経営プランでは職員数の基準を1,097人としています。令和6年度は1,121人と24人多い状況です。
- 答** 「職員の健康を守りながら残業を減らし、人件費を抑えて市民サービスを維持するにはどうするのか」
 「基準の人数に戻す考えはあるのか」
 ※経常収支比率とは、「毎年必ず支出しなければならないお金」の割合です。家庭にたとえると、給料の約94%を税金や食費で使い切ってしまう、余裕がない状態です。市の財政においては、ゆとりがなく、将来のまちづくりや新しい事業にお金を回しにくくなっています。
- 問** 基準値を維持していきたいとは思いますが、昨今の自治体を取り巻く現状は、少子高齢化や国からの事務事業などがあり、職員の削減にはなかなか追いついていない。今後、この1,097人を意識して最小の人数で最大の結果を示せるようにヒヤリングを重ね努力していく。



議長公務

韓国^{よんじゆ}栄州市とは2012年に友好交流関係都市提携の調印を行い、教育、産業、文化など幅広い分野で交流を続け毎年相互に訪問を行っています。今回の訪問では、私も^{ぶんぎ}豊基人参まつりの舞台であいさつをし、栄州市の皆様から多大なる歓迎をいただきました。

このような交流を通して、お互いに理解を深め合い友好関係の輪が着実に広がっていることを改めて感じ、実りある訪問となりました。



議会運営委員会

佐野 和也 委員長 コメント

今年度も半年が過ぎました。市議会では様々な出来事があり、また市民の皆様からのご意見も多数寄せられました。富士宮市議会として大変勉強になりました。市民の皆様のニーズに応えるためにも、多様性のある開かれた議会を目指し、委員会としましては、議会改革特別委員会と広聴広報委員会の設置を目指し課題として取り組んでいます。



総務文教委員会

渡辺 佳正 委員長 コメント

来年2月1日オープン予定の富士根交流センターについては、他の交流センターの運営実績、地域との連携体制などの観点から、また来年で開館6年目を迎える富丘交流センターについてはこれまでの活発な世代間交流や地域間交流を評価して、富士宮市振興公社を指定管理者に選定することを可決しました。今後は、利用率のさらなる向上、防災拠点としての機能、障がい者への配慮、交流センター間の連携充実などに取り組むことを期待します。



▲富士根交流センター完成予想図



▲富丘交流センター

先進地視察

10/27～28

守口市：小中一貫校としたさつき学園の視察について

安芸高田市：小学校統合の取組と今後の中学校統合に向けた取組について

両市を視察して、学校統合には強力な地域連携が必要なこと、小中学校間で教員配置の融通が効くこと、統合に伴う新校舎建設や通学支援に国と県の補助制度があること、特別支援学級・不登校対策・少人数学級が充実していること、中1への移行がスムーズであること、経費削減ではなく教育環境・学力向上が目的であることなどについて認識を深めました。学力向上の分析については、「だれ一人取り残さない教育」、「教員の多忙化解消」などの観点も必要だと感じました。



▲さつき学園校長と質疑応答

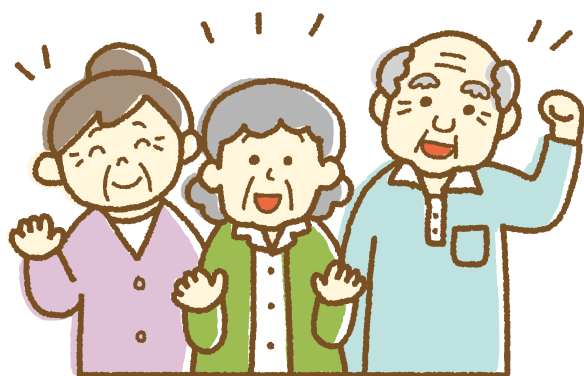


▲視察後に、安芸高田市議会議場での集合写真

環境厚生委員会

佐野 寿夫 委員長 コメント

令和4年から令和5年にかけて準備をし、スタートした重層的支援体制整備事業の概要と、令和6年度の実績の説明を受けました。「重層的支援会議（つながる会議）」を実施し、幅広い年代のひきこもり状態にある方々への支援を拡充しています。個々の状況に合わせたオーダーメイドの伴走支援を行うことで、孤立の解消と一歩踏み出す力のサポートをしています。各委員からは、支援の状態、切れ目のない支援、質の向上と連携強化への期待の意見が出されました。



10/22～23

先進地視察

周 南 市：新南陽市民病院増改築基本構想及び基本計画について
名 古 屋 市：医療DXによる業務効率化・省力化について

10月22日には開設されて25年が経過する新南陽市民病院を視察してきました。50年後には建て替えを見据え増改築を行います。新たに面積を増やすと法令上のハードルが上がるので枠内での実施が有効です。

23日は名古屋医療センターのクラウドカルテを視察しました。導入コストを安く抑えられ、遠隔地のバックアップなので有事の際、医療情報の共有ができます。しかし更新の際に費用が掛かるデメリットもあります。市立病院も電子カルテを含めた医療DXの更新の時期にきています。



▲周南市視察



▲名古屋市視察

産業都市委員会

小松 快造 委員長 コメント

焼津市は、市民の防災意識向上のための体験型防災施設として防災学習室「しえ〜る」を、同市消防防災センター内に平成 29 年 3 月 30 日リニューアルオープンしました。

この施設は、消防本部・災害拠点施設・公共施設などの施設の一角にあるタイプです。市民が気軽に立ち寄り家族で楽しみながら防災体験、防災学習ができるほか、半日または 1 日のツアー形式で本格的に学ぶこともでき、市民の防災意識を高めるのに大いに役立っていることが想像できます。富士宮市においても防災体験施設の必要性を感じさせられました。



▲焼津市消防防災センター防災学習室「しえ〜る」

先進地視察

11/6～7

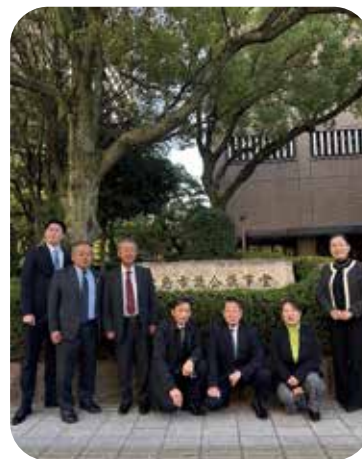
大 阪 市：阿倍野防災センター「あべのタスカル」にて体験型防災学習
 広 島 市：平成 26 年 8 月豪雨災害被災地の復興まちづくりについて

大阪市では阪神淡路大震災直後を再現した体験学習を行いました。最新の防災知識や技術について説明を受け、助かる力、助ける力を学ぶことの重要性を感じました。

広島市では、平成 26 年 8 月豪雨災害被災地の復興まちづくり及び土砂災害防止対策について、激甚化・頻発化する災害に対して、砂防堰堤等の整備、避難路の整備、雨水排水施設等の整備、住宅再建の支援等の施策が重要な課題であると改めて認識しました。



◀大阪市立阿倍野防災センター「あべのタスカル」にて視察



◀広島市都市整備局都市整備課にて視察

那須町議会議会広報特別委員会視察 in 富士宮市議会



先日、那須町議会の議会広報特別委員会の皆さんが、富士宮市議会の広報活動について視察に来られました。

特に那須町議会が関心を持たれていたのは、「あなたにスポットライト！」と「高校生との協力」による広報活動です。

高校生との協力の事例が、今の時代に大切な若者に「政治への関わり」を促す上で重要な取組であることを紹介しました。



那須町議会の皆様、
富士宮に足を運んでいただき
ありがとうございました！



© 富士宮市さくやちゃん

「あなたにスポットライト」は地域団体に焦点を当てたインタビュー企画です。市民と議会のつながりをさらに深めるための重要な取組であることを紹介しました。



これからも、他市町の皆さんと情報交換を続けながら、議会活動を盛り上げていきます。



あしざわ
芦澤
(明和)

ひでのり
秀典

教 育
産業振興

富士宮市内の小学校、中学校におけるカスタマーハラスメントについて

問 市内の小中学校におけるカスタムハラの実態把握について。

教育長 市内34校を対象。昨年度から本年度のこれまでに42件。対応した回数の総計は261回、1回の対応に要した平均時間は71分。中には1つの学校での対応件数が7件、対応回数が90回以上で、その対応に要した時間総計115時間にも及んだ例もある。

問 市独自のカスタムハラ対策指針の策定について。

教育長 現在、市教育委員会としては、対策指針というよりも対応マニュアルの作成を目指している段階である。具体的には、富士宮市校長会において、学校現場の実情も考慮した富士宮

市小中学校カスタムハラ対応マニュアルの作成を手がけている。

市長 カスハラについては、教育総合会議の立場からも捨てておけない問題。場合によっては受け皿のセンターみたいなものをつくって、専門的な部署としてそういう対応をしていく。先生方の負担を少しでも軽減させていかなければならない。



宿泊費補助制度について

問 宿泊費補助によって観光客の滞在を促進し、地域経済の活性化につなげることにについて、市の見解を伺う。

部長 来年度においては、観光客の動向やニーズを調査分析し、宿泊費補助制度ほか全国で行われている旅行支援や独自割引などについて、費用対効果と照らし合わせながら調査研究していきたいと考えている。



さの
佐野
(明和)

かずや
和也

消 防
危機管理
都市整備

富士宮市の森林火災に対する対応について

問 ハザードマップ的なものの作成など、山火事に対する計画等はあるのか。

部長 ハザードマップ的なものは作成されていない。林野火災は発生原因のほとんどが人為的要因によるものとされており、富士宮市火災予防条例においても火災発生のおそれや紛らわしい行為等に対して届け出をするように義務付けている。総務省消防庁において消防活動を支援するシステムを令和8年度中をめどに開発することなので、その完成を待ち当市においても活用方法について検討していく。

問 どの段階で避難所を開設するのか。

部長 一概に基準は設けておらず、その都度災害対策本部で消防本部と情報共有を行い、火災の規模や状況に応じて市民の安全確保を最優先

とした避難情報の発令及び、避難所の選定や開設の判断をする。



市長 警戒区域、市域が広く難しい問題だと思うが、火が移ったら重大問題になってしまうということ。じっくりとしっかりと考えていく必要はあるなと思っている。

市内の観光シーズンの交通渋滞対策について

問 新東名高速道路のスマートインターチェンジの設置を提案する。



部長 市内の通過区間は内房区間と、山本・高原・貫戸区間の2か所であり、内房区間はほとんどがトンネルと高架橋なので地形的に設置できないと考えられる。山本・高原・貫戸区間は、一部切通し区間があるものの新東名高速道路から既設道路までの高低差が15メートルから30メートル程度以上あり、地形的にも技術的にも困難と考えられる。またインターチェンジの設置には平均20億円程度の事業費と広大な用地の取得や、既設道路へのアクセス道路新設も必要となり設置は難しいと考えられる。



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

産業振興
総務

【中小企業支援】福利厚生で選ばれるまちへ

問 大企業には及ばない給与水準の中小企業が人材の採用・定着を進めるには、柔軟かつ多様な福利厚生を提供することが差別化の鍵と言われている。市内の中小企業で福利厚生（法定外福利）を導入している割合を把握すべき。

部長 来年度の中小企業等実態調査の項目に盛り込んでいきたい。



問 大手人材情報サイトの調査によると、かつて主流だった「保養所」「社員旅行、懇親会」などの福利厚生を求める若手は減っている。若手、特にZ世代

(～20代)の価値観、ニーズに合わせたバージョンアップを行政として支援すべき。

部長 なかなか中小企業では情報を仕入れていない部分があるかと思うので、情報発信していきたい。

【民間活力】ネーミングライツ（命名権）の導入

問 富士市の北里アリーナ富士の事例等を参考に、財源確保策の一つとして積極的に導入を進める考えはあるか。



▲命名権を導入している北里アリーナ富士（富士市）

部長 制度構築に向けて先進地の状況調査、関連法規の改正の検討など準備作業を進めている。

問 導入に向けての今後のスケジュールは。

部長 早ければ今年度中にガイドラインを完成、来年度には各所管課で募集が始められたら。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

環境
消防
都市整備

富士宮南原太陽光発電所新設事業に対する市民の懸念と市の対応について

問 19.99ha（東京ドーム4個半）で申請。環境アセスの制度の趣旨を踏みにじっていないか。

部長 環境アセス逃れだということではなく、事業者の経営戦略上の事と理解している。

問 地元を調査し、地元が同意しているとは思えない。もう一度全体の説明会は開けないか。

部長 地元の意見合意は、太陽光のみならず、行政として口をはさめない。

問 全体像の青写真など、企業に作成してもらい、回覧などして地元で周知できないか。

部長 市の方から事業者伝えておく。

問 地元との協定書は変更するたびに協定書を作成すべきと思うが市は関知できないか。

部長 区と対話しているので、問題ない。

問 太陽光発電所から出火した時の活動プランは確立されているのか。

消防長 太陽光発電施設に特化した計画はない。

問 地元は最初、大中里区と安居山区に導水管が通り、大中里区に3分の2の雨水が流れると聞いた。実際は安居山に導水管が1本で全部流れてくる。そのような流域改変に伴う事業者の書類は市に提出されているのか。

部長 雨水の調整は問題ない。

問 管理不全時に市が強制できる法的手段はあるか。協定やガイドラインで担保すべきだが。

部長 行政代執行があるが、最終手段。事業者は国のガイドラインを遵守すると回答しているので、担保は必要ない。

意見 私たちは富士山と共に生きてきた。その美しい風景と清らかな水は市民の誇り。富士宮市の自然と市民の生活を守りぬくという誇りを胸に、職員の方は職務に向きあってほしい。





うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

保健福祉
教 育
市 民

子ども医療費助成制度について

問 令和7年度予算では6億7,000万円を計上している。助成の継続についてはどのように考えているか。

部長 本制度は子育て世代に対する経済的な負担軽減策として大変重要な事業であり、今後も継続して実施していきたいと考えている。

問 歯科治療についても対象となっているが虫歯の多いこどもが増えていると聞く。虫歯についてはもっと予防啓発が必要と感じるが。

部長 2歳児の歯科検診を行って指導している。幼児についての虫歯予防はしっかりと伝えることができていると思う。



教育長 小中学校で虫歯が増えているという傾向はある。新型コロナウイルス感染症の流行で学校において昼休みに一斉に歯磨きをするような事がで

きなくなった。新型コロナウイルス感染症も治まってきたので学校での歯磨きの時間を習慣づけていこうと取り組んでいるところである。

外国籍児童生徒への学習支援について

問 外国籍児童生徒数の推移と個別の指導を受けている児童生徒数は。



部長 本年は152人となっており緩やかな増加傾向にある。日本語の個別の指導を受けている児童生徒は全体の37%程度である。

問 支援は十分に行き届いているか。

教育長 外国人児童生徒支援員3人で配置基準は満たしている。今後対象児童生徒が増えるようであれば増やすことを考えなければならない。

問 現在、国際交流協会の協力を得ての日本語支援も行われている。もっと支援のための人材育成に力を入れることができないか。

部長 国際交流協会から主に8人の日本語支援ボランティアに小中学校で活動して頂いている。この人数を多くしていくことは大事であると思う。国際交流協会と一緒に検討して行きたい。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

保健福祉
教 育

減塩対策の強化と地域連携による健康支援について

問 減塩というと、つい味が薄い、我慢と思われる。でも、実際にはだしや



香味野菜、酸味を上手に使えばおいしく減塩ができると思う。地元の飲食店やスーパーと連携して、うまみや香りを生かした減塩メニューや減塩応援店の認定制度を広げることで、市民が外食や買物の中でも自然に減塩を意識できる環境をつくることができると思う。更なる取組について伺う。

部長 減塩啓発協力店は現在6店舗あり、スーパーでの減塩イベントでは管理栄養士が減塩レシピの紹介や試食を行っている。今後は協力店を増やし、飲食店にも広げていく方向で検討を進めている。

教員による不祥事を未然に防ぐための管理体制と再発防止策について

問 児童生徒が1人の教師に依存せず、複数の目で見守る体制を整える考えはあるか。



教育長 児童生徒が安心して学校生活を送るためには、学校全体でチームとして見守る体制が重要である。本市では、学級担任だけでなく、養護教諭、スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーターなど複数の専門職が連携して支援している。小学校でも教科担任制やチーム担任制を導入し、児童が担任以外の教員とも教育相談を行うことも可能にしている。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(明和)

企画

新たな山村振興基本計画の策定について

問 山村振興法の役割とは何か。

部長 山村の自立的かつ持続的な発展に向け、重要な役割を果たしているもの。山村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全など、多面的な機能を有している。本市としても、山村地域と連携しながら、これらの機能を守っていかねばならないものと認識している。

問 山村振興計画の策定に必要な要件とは。

部長 新たに山村振興計画を策定することになれば、対象地域にお住まいの皆さんと山村の実情や地域課題について、十分に協議する必要があると考えている。柚野地区及び稲子地区は移住推進協議会にもなっていることから、移住定住推進委員会などの既存の協議体を活用できるのではないかと考えている。

問 庁内連携の必要性について。

部長 山村振興関連の交付金の活用事例を見ると実に幅広い分野の事業が盛り込まれている。河川、道路、教育、産業振興、防災、移住促進など総合政策になることから、分野横断的な連携は不可欠である。本市としても、山村振興計画を策定するならば、庁内横断的に各部署が連携した体制整備の下、事業に取り組むことになると考える。

市長 芝川地域は私の家内のふるさとであり、芝川地域をより良くしていくことは、自分の責任でもある。芝川中学校の校舎改装やユートリオの整備など、芝川地域の発展については、これまでも一生懸命取り組んできた。その点についてはご理解いただきたいと思う。

意見 柚野・稲子地区は、少子高齢化という最大の課題にすでに直面している。山村振興交付金は、高齢化という課題への処方箋になりうる。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

保健福祉

認知症になっても変わらない生活ができる 富士宮をめざして

問 認知症サポーター養成講座が始まった経緯やこれまでの開催回数や参加人数は。

部長 認知症サポーターを一人でも多く養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを市民の手によって進めるために始まり、令和6年度までに合計743回開催され、延べ26,354人の認知症サポーターが誕生しており、若い世代から高齢世代まで、多くの市民が認知症への理解を深めているのが富士宮市の強み。

問 富士宮市の認知症支援の独自性は。

部長 ①認知症サポーター養成講座をはじめとする啓発の仕方。②認知症カフェの広がり（現在26箇所）③住民活動の広がりを生かし、サービスの枠を超えた地域一体の支援の実践。

問 これからの課題について。

部長 ①20代から50代までの働き盛り世代へのアプローチであり啓発方法にも工夫が必要。②日常生活に密接に関わる分野との連携を深めることであり、これまでの地域住民による活動に加え、市民生活の身近にある職域にまで支援の輪を広げ、医療や介護といった専門分野にとどまらず、交通機関、ごみ収集などの行政、民間企業を含む公共サービスや、日頃のお買物をするお店なども含めたあらゆる分野との連携を進める。

問 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すために市長の決意を伺う。

市長 認知症の人たちにとっても安心して暮らせる温かいまちになるよう、市民の皆様とともに全力を尽くしてまいりたい。

ロバ隊長：認知症サポーターキャラバンのマスコット。「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指し急がず着実に進むことを象徴している。





うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(つなぐ)

保健福祉
環境

【産後ケア】子育て世代に選ばれるまちへ



問 産後ケアの現状について。

部長 市内に6か所、富士市に6か所の施設がある。令和6年度利用券の申請者数は218人で令和6年度出生数の40%にあたる。利用者満足度についてのデータはないが、もっと利用したい等の声を頂いている。今年度中に満足度調査の実施を予定している。

問 今後のビジョン、財政面での見直しは。

部長 第6次総合計画における重点プロジェクトの主な取組事業として位置づける予定であり積極的に推進していく事業であると考えている。

現在国の補助金やふるさと応援基金を利用し、実施しているが今後も財源の確保に留意しつつ、利用者支援だけでなく事業者支援も実施し、この事業が持続充実できるようにしていきたい。



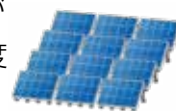
【太陽光発電施設】環境にやさしいまちへ

問 寿命がきたパネルの廃棄について。

部長 発電事業者の責任の下で廃棄物の法律やさらに当市においては大規模な地面に設置する施設は土地利用対策委員会決定事項措置表で、また中小規模の施設については小規模な再生可能エネルギー発電設備設置事業に関するガイドラインで機器の適正な廃棄やリサイクルを指導している。今後もしリサイクルやリユースを推奨し、景観や環境に配慮した再生可能エネルギー発電の導入を推進していく。

問 現在の条例を改正する考えはあるか。

市長 以前の条例は富士山の景観が主眼だったのもう一度いろんな角度から見直すということを考えている。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(つなぐ)

教 育
都市整備
産業振興

34年ぶり!高野進さんの快挙を未来へつなぐ。
富士宮市から世界で活躍するアスリートを!



問 中学校の陸上部が少ない現状の認識は。

部長 市内中学校での陸上部の数は13校中5校。部活動の選択はこどもたちの「したい」という自主性に任せている。

問 陸上競技のイベント開催状況は。

部長 「陸上カーニバル」を開催。参加者は日頃の成果を発揮している。

問 トップアスリート派遣事業の継続は。

部長 R4～R6年度は長距離指導を実施。これ以降は、他競技の意向も踏まえ調整する。

問 強化指定選手制度を導入してはどうか。

部長 指導体制や遠征費・人件費等の安定的な資金確保が困難と考える。

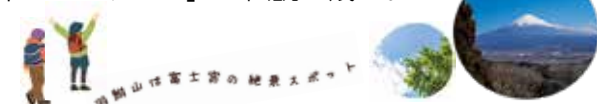
問 高野進氏へリーダー役を依頼できないか。

部長 高野氏への、指導者・リーダーとしての役割依頼を前向きに検討する。

羽鮒山を新たな観光拠点に…鍵は“地元総意”

問 羽鮒山が持つ景観や歴史的価値は。

部長 富士山眺望点に指定、源頼朝にまつわる「さかさやなぎ」の伝説が残る。



問 現状の整備・維持・管理状況は。

部長 展望台の老朽化が進んでいるため、修繕等を実施したいと考えている。維持管理は地元の上羽鮒区に年3回以上の作業を委託している。

問 羽鮒山を新たな観光拠点にする考えは。

部長 地元や関係者、私有地所有者との協議・検討がまずは必要である。

市長 住民や関係者が一致団結し、管理責任も含め前向きな要望があれば市も動かされていく。



いわむら えみ
岩村 恵美
(つなぐ)

教 育

小中学校体育館における空調設備について

問 公立小中学校体育館の空調設備の整備状況と避難所としての機能を果たす上での課題をどのように捉えているのか伺う。

部長 現在小中学校体育館に空調設備の設置はない。学校生活における子どもや教職員の熱中症対策のためと、避難生活は主に体育館を使用することから、災害により避難する市民の皆さんが安心して過ごせる環境を整備するためにも、空調設備の設置が急務であると考



えている。
問 国の第7次エネルギー基本計画では、災害対応力の強化と省エネルギーの両立が求められており、GHPの導入が推奨されているが、この方針をどのように、今後の整備計画に反映さ

せる考えはあるのか。

部長 学校の体育館に設置されるエアコンには、主にガス式と電気式がある。GHPはガスヒートポンプの略で、ガスの燃焼によってエンジンを動かし、コンプレッサーを回して冷暖房を行う方式。災害時に電気が遮断しても、ガスがあれば空調は稼働できることや、電気式に比べ電力の消費量が少ないメリットがあると認識。

問 現在、体育館の空調整備はできていないが、予定は具体的に出ているか。

部長 県内でもいち早く設置するということで、今計画を立てている。



市長 一日も早く設置しなければいけない状態。大至急設置するように指示している。

意見 北海道で2023年夏に、体育館での授業中に小学校2年生が熱中症で倒れて亡くなったという事例があった。本当に今、喫緊の課題。なるべく早い段階で導入を考えていただきたい。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

産業振興
水 道
危機管理

新稲子川温泉ユー・トリオの今後について

問 近年の利用者数の推移について。

部長 コロナ禍前の平成29年度5.5万人、コロナ後令和4年度2.7万人、令和5年度3.6万人、令和6年度3.8万人の利用者数である。

問 利用者数増加の施策は。

部長 整備中のキャンプ場、整備してきたバーベキュー場、遊具施設など稲子地区の魅力を再発信し、指定管理者と協力し取り組んでいく。

問 モノクロラミン消毒の活用について。

部長 今まではプールが併設されており次亜塩素酸ナトリウム液で消毒が義務付けられた。pH9.6の強アルカリ温泉には管理が難しかった。モノクロラミン消毒が非常に有効な消毒と認識しているが、使用には高価なものとなる。現時点で、導入使用については考えていない。近隣

温泉施設には導入しているところもある。

問 再オープン日について。

部長 年内に検査等を実施し、再開日途を周知。

平常時災害時における湧水・井戸の利活用について

問 南海トラフ時上水道復旧までの日数は。

部長 発災後1週間で給水拠点に運搬給水、1か月後には各戸給水の応急復旧計画である。

問 災害時飲料水・生活用水は何ℓ必要か。

部長 飲料水3ℓ×7日分は国の基準であり、生活用水10-20ℓ/日とされている。

問 市や民間が管理する湧水・井戸を災害時に利用できないか。

部長 市が管理する湧水については、管理者と調整した上で利活用可能である。民間の湧水地については敷地内への立ち入りなど、管理者と調整が必要となる。





わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)

市教
保健
福祉
消防

多文化共生社会の推進について

問 日本語支援ボランティア体制の充実を。

教育長 国際交流協会などと協議している。

問 多文化共生推進条例の制定について、どう考えるか。

部長 条例制定は考えていないが、総合計画に位置づけて、より一層、多文化共生社会の推進に取り組んでいく。

すべての市民に「健康で文化的な最低限の生活」を保障する生活保護制度について

問 生活保護基準以下の暮らしで実際に生活保護を利用している人の割合（捕捉率）が約2割という低い状況を、どう認識するか。

部長 制度への社会的偏見、制度自体の認知度の低さ、所得・資産などの要件、生活保護が必要なことを本人が認識していないなどの理由がある。

問 県が作成した「生活保護の申請は国民の権利です」のポスターを公共施設に掲示したらどうか。

部長 しっかり制度につながるようチラシの配架に加え、「生活にお困りの方はご相談ください」のポスター掲示を検討する。

問 熱中症で救急搬送された患者について、エアコン設置状況を調査しているか。

消防長 今年6月～9月の調査で、熱中症による救急搬送者83人のうち、エアコンを設置していなかったのは13人。

問 酷暑がさらに厳しくなる中、生活困窮者にエアコン設置・電気代補助を検討してはどうか。

部長 生活保護世帯のうち7割が生活費のやりくりでエアコンを所有している。残り3割の方への補助は、公平性の観点から難しい。



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

教 育

小中学校の女子トイレに生理用品を常備することについて

問 保健室での生理用品の配布状況、取組について。

教育長 学校の規模、実態によって異なる。各学校に伺ったところ、1か月の平均は1人程度。4・5人に配布している学校もある。基本的にはその日に必要な数を配布している。日頃から開かれた保健室経営を心がけ、いつでも相談できるように信頼関係に努めている。子ども達は体の発育について困ったことがあると相談していることが多い。宿泊行事における入浴時の個別対応や医療機関への受診や治療につながった事例もある。

問 モデル校を設置し、生徒からアンケートを取り、今後の参考にすることはできないか。

教育長 こどもたちの声に耳を傾け、その意見や要望に応じていくことは大切。今後、モデル校を設置し、検証を進め、成果と課題を明らかにした上で女子トイレへの常備の可能性を検討していく。

問 民間から贈呈依頼のあった生理用品について。

教育長 衛生状態に問題がないこと、営利目的でないことを前提として、学校で有効に活用させていただく。





いなば こうじ
稲葉 晃司
(超党派虹の会)

産業振興

富士宮市の農業政策について伺う

～ SAY 農の掛け声とともに～

問 令和7年度スマート農業補助金の執行状況はどうか。

部長 本年9月末での予算160万円に対する執行状況は69%であるが現時点でスマート農業の機器購入の相談が3件あり、これにより予算満額に達する見込みである。

意見 令和7年度のスマート農業事業の効果はしっかりと現れている。もっと周知もっと予算の拡充をしなければいけない。そうしないと富士宮市の農業は終わる。だから頑張っていたきたい。

スマート農業技術の導入を支援(補助)します

スマート農業技術とは
ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用して超省力及び高品質生産を実現する農業の技術

【補助の内容】

①スマート農業機器購入事業
対象経費：農林水産省による「スマート農業技術カタログ」に掲載されている技術等の導入に要する経費、その他市長が認めるもの

補助率等：補助率1/2・上限額30万円
必要書類：見積書(2者以上)

②スマート農業活用支援事業
対象経費：ドローン等を使用して農業等の配布を委託により実施するに要する経費(他団体から同趣旨の補助金を受けた又は受けようとする場合は、当該補助金の額を控除して得た額)

補助率等：補助率1/2以内(ただし、10アール当たり1,000円を乗じて得た額又は1申請当たり4万円のいずれか低い額を限度とする。)

必要書類：見積書(実施する地番・面積・回数が分かるもの)

対象者(共通)：本市に住民登録がある農業者等かつ経営耕地面積が10a以上の方または前年の農産物販売額が15万円以上の方
※ただし、②については一回限りです

詳しくは下記二次元バーコードを照らし、チラシをご覧ください。

詳細は下記担当までお問合せください
富士宮市役所 産業振興部 農業政策課 農業係
電話：0544-22-1148

※裏面に申請のながれが記載されています。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

産業振興
市 民

市内、観光地の喫煙場所の現状と対応について

問 観光地に喫煙場所を設置することは、多角的な視点から議論されるべき課題である。特に外国人観光客の増加に伴い、その必要性や課題が浮き彫りになっている。今後、喫煙場所を設置するお考えを伺う。

部長 議員質問の白糸の滝駐車場については、望まない受動喫煙のおそれがあったため、喫煙所が撤去されましたが、そのことで起きている問題、歩きたばこやポイ捨てなど、売店の方や駐車場整理員の方から伺っているので、提案された日本たばこ産業株式会社に分煙のアドバイスを伺いながら、喫煙場所の設置について検討していく。

商品軽自動車(二輪・四輪)の軽自動車税課税免除と臨時運行許可証(仮ナンバー)を電子申請化することについて

問 臨時運行許可証(仮ナンバー)の申請を電子申請化することについて伺う。

部長 現在、県内の一部の市で電子申請システムでのロゴフォームを用いた交付予約を行っている。本市においても幾つかの手续においてロゴフォームを活用しているので、早速導入に向け準備に取りかかってまいりたい。



◀浅間大社 駐車場に設置されている喫煙場所



◀臨時運行許可証(仮ナンバー)の電子申請化

2月定例会の予定／議員の寄附行為の禁止について

2月定例会の予定 2月9日(月)～3月18日(水)

日	月	火	水	木	金	土
2/8	9 開 会 施政方針	10	11	12 議案審議	13 総務文教 委 員 会	14
15	16 環境厚生 委 員 会	17 産業都市 委 員 会	18 議会運営 委 員 会	19	20	21
22	23	24	25	26	27 議会運営 委 員 会	28
3/1	2 代表質問	3 代表質問	4	5	6	7
8	9 予 算 審 査 特別委員会	10 予 算 審 査 特別委員会	11	12	13 一般質問	14
15	16 一般質問	17 一般質問	18 一般質問 議案審議 閉 会	19	20	21

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。TEL:0544-22-1191
インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。

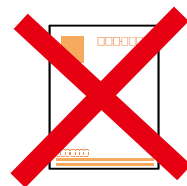


議員の寄附行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が不特定多数の市民に年賀状を出すことや、歳暮・年賀などの物を贈る寄附、地域への催し物へ寸志等を出すこと、葬儀へ花輪を出すことは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すように勧誘する、または要求することも法律で禁止されています。

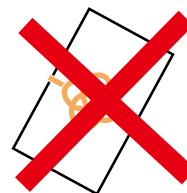
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



年 賀 状



歳 暮 ・ 年 賀



寸 志



花 輪

議会だより編集委員編集後記

今回は、富士宮高校会議所取材させていただきました。次号(2/1発行)もどうぞ期待ください!!



笑顔のために

NO.440 令和7年12月1日発行

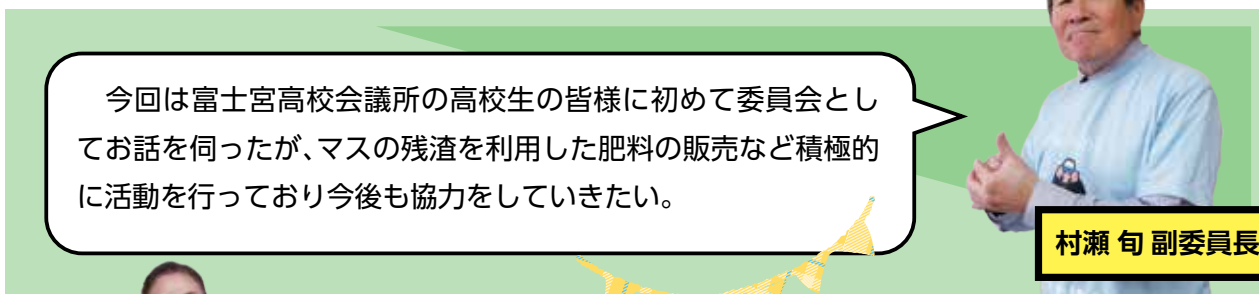
【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



仲亀恭平 委員長

令和6年度決算徹底チェック!! 特集ページでは、各会派注目の事業をピックアップしました。市民のためにお金はどう使われたのか...真剣な議論をぜひご覧ください。



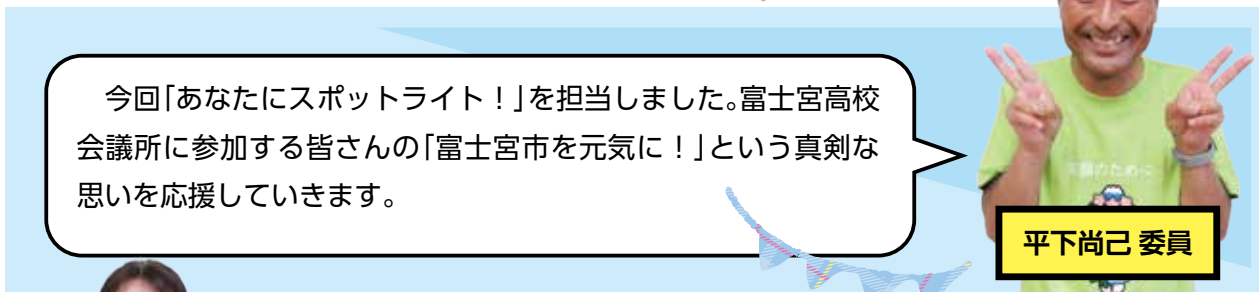
村瀬 旬 副委員長

今回は富士宮高校会議所の高校生の皆様に初めて委員会としてお話を伺ったが、マスの残渣を利用した肥料の販売など積極的に活動を行っており今後も協力をしていきたい。



近藤千鶴 委員

高校会議所の皆さんとの意見交換会では、若い感性に大いに刺激を受けました。これからのまちづくりに生かしていきます。



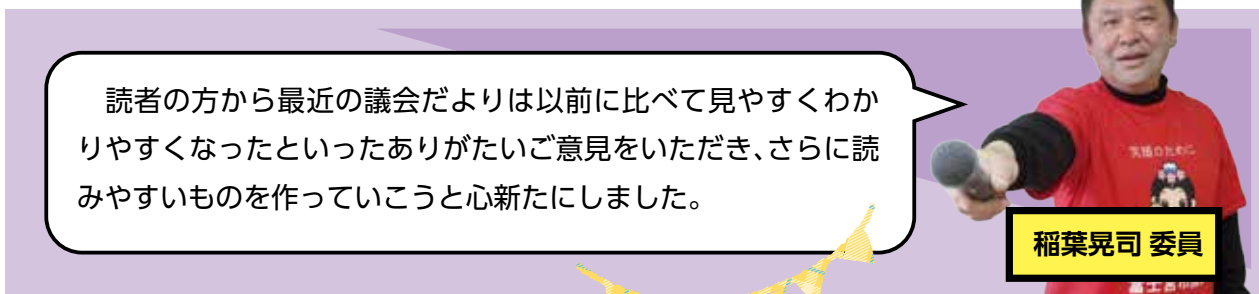
平下尚己 委員

今回「あなたにスポットライト!」を担当しました。富士宮高校会議所に参加する皆さんの「富士宮市を元気に!」という真剣な思いを応援していきます。



山藤陽子 委員

議会だより編集委員となり、3年目。多様な世代の人に「わかりやすい」を1番に心がけています。これからも皆様に寄り添った「議会だより」をお届けしていきます。



稲葉晃司 委員

読者の方から最近の議会だよりは以前に比べて見やすくわかりやすくなったといったありがたいご意見をいただき、さらに読みやすいものを作っていこうと心新たにしました。